

“真・報連相” 講演会

～ 風とおしの良い職場をめざし 社内の絆を深めよう ～

企業と個人の価値を高めるための「情報の共有化」のすすめ方

2011年00月00日

- 1) コミュニケーションって、何でしょう？
- 2) みなさんの職場では、いかがですか？
- 3) 報連相は「仕事の進め方そのもの」です
- 4) 効果的に仕事を進めるための3つのヒント
- 5) 企業と個人の価値を高めるために

大阪・御堂筋本町・人と組織・変革支援

有限会社 **NSRビジネス**

日本報連相センター／NHC113

講師の自己紹介

なかとみ まさよし

中富 正好

組織変革ファシリテーター

有限会社NSRビジネス 代表取締役

日本報連相センター関西支部長

(日本報連相センター会員 NO.113)

講師略歴

和歌山県出身。大学卒業後、広告会社を経て、御堂筋労務事務所（社会保険労務士事務所）を開業。その後、人と組織の変革支援を主たる業務とした有限会社NSRビジネスを設立。現在に至る。

得意分野

日本報連相センターの提唱する「真・報連相」をもとにした組織活性化と業務改善研修及び指導、初級社員のための仕事の進め方研修、幹部・管理者層のためのスキルアップ研修、人事制度設計などの指導コンサルティング・各種労務セミナーに取り組んでいる。

日本報連相センター

日本報連相センターは、日本で唯一の報連相を専門に研究開発、啓蒙・普及に取り組んでいるプロ集団。1993年に設立され、日本報連相センターの理念に賛同したコンサルタントらが、会員になり、真・報連相を学びながらその普及と互惠の関係を深めている。会員は325名（2011年1月現在）で、コンサルタントや研修講師をはじめ企業内教育担当者など多彩で、日本国内に11支部、海外にもアジア支部等の支部組織があり活動している。

1)コミュニケーションって、何でしょう

- ちょっと 試してみましよう …



- **いかがでしたか？**

お隣同士で見せ合ってみましよう

お互いに気づいたことを話し合ってみましよう

2)みなさんの職場では、いかがですか？

● 事例 / メールで連絡しておいたはずが…

● 事例 / 人数が合わない

● 「知っている」と「知っている・できている」とは、ちがう

● みなさんご自身は、いかがですか？ 報連相できていますか？

お隣同士 2人1組になって、相互インタビュー形式で意見交換してみましょう

- 進め方**
- ① 2人1組になって、お互いのシート（このレジメ本体）を交換します
 - ② インタビューの内容は相手（本人）のシート（このページ）に記入します
 - ③ ジャンケンで、インタビューする順番を決めます
 - ④ 合図に従ってインタビューを開始し終了します。交替し繰り返します
 - ⑤ インタビューが感想を述べ合ってから、各自シートを返却し終了です

**Q1 普段、職場での〇〇さんの報連相(報告・連絡・相談)について
もし100点満点で点数をつけるとすれば、何点位だと思われますか？**

**Q2 では、〇〇さんの報連相が、上記の△△点になった理由は何ですか？
こんなことができているから！こんなことができていないから！など
できるだけ具体的に聞かせてください。**

**Q3 〇〇さんが、いま現在できていない報連相について
もし、それができたとすれば、〇〇さんにとって、
それは、どのような意味があるのですか？どんないいことがあるのですか？**

3) 報連相は「仕事の進め方そのもの」です

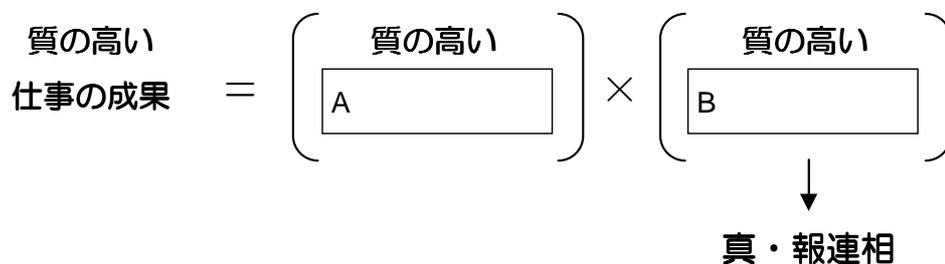
● コミュニケーションのことで悩んでいない組織はない

報連相は大事！しかし 具体的には …、どうしたら …

報連相が“うまくできない”というのには、理由があります。

● 長い間“できる人”を観察・研究してきた結果わかったこと

報連相は、仕事の進め方そのもの



報連相は、パソコンで言えば $\boxed{\text{C}}$ のような存在

● これまでの報連相と「真・報連相」のちがい

これまでの報連相（旧報連相）は「やり方・手段」が中心でした。
しかし「やり方」だけでは、質の高い効果的な報連相はできません。
なぜなら

その報連相の質が高いか？ 低い？ 効果的かどうか？ は
報連相の「やり方」や「手段」だけでは決められないからです。

例えば Aさんにとってのよい報告の仕方が
Bさんにとっては悪い報告の仕方になる ことがあります。

では、どうするか？ その答えは、**真・報連相の考え方**にあります。

4) 効果的に仕事を進めるための3つのヒント

● 真・報連相の基本的な考え方

真・報連相の基本的な考え方の核心は、次の3本柱です。

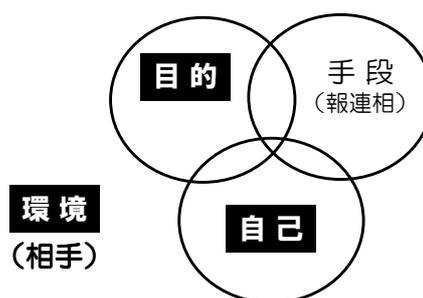
①3つの視点 ②3つの深度 ③真・報連相の『5段階のレベル表』

①と②を合わせて『3つの視深』と呼びます。「視深」とは「指針」の意味です。

● 3つの視点

3つの視点とは「手段」（である報連相）を「目的」「環境（相手）」「自己」との関連で見ると、深く見えるということです。

何事につけても、やり方・手段へ直行しないのが、できる人の仕事の進め方です。



● 3つの深度

3つの深度とは「情報の共有化」には「3段階の深度」があるということです。

深度1 事実情報の共有化（知っている）……………（聞く）

深度2 意味（目的）の共有化（分かっている）……………（訊く）

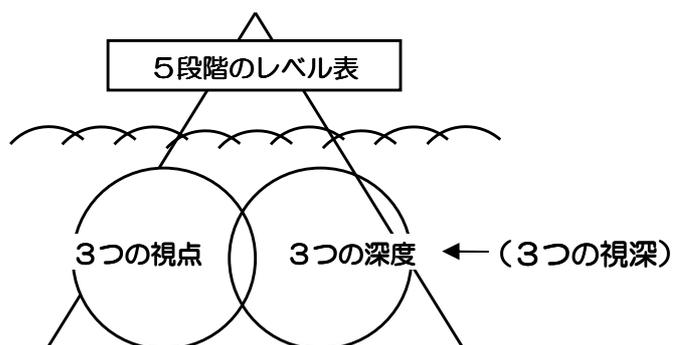
深度3 考え方の波長の共有化（共感・感動）……………（聴く）

● 真・報連相の『5段階のレベル表』

報連相にはレベルがあります。

「3つの視点」と「3つの深度」を縦糸と横糸にして、編み出したものが「5段階のレベル表」です。

この関係を氷山に例えたのが右の図です。



● 事例 / 何のためのハウレンソウか

● やい方・手段へ直行しないのができる人

● 事例 / カルテを早く

● 情報の共有化には、3段階の深度がある

5) 企業と個人の価値を高めるために

●「情報によるマネジメント」のすすめ

「情報によるマネジメント」とは

情報の共有化を深めることを

マネジメントとして に行っている こと

●「情報によるマネジメント」が重要なワケ

人は誰でもワケを知りたい（理解欲求）

情報があれば判断できる。判断できるから、 な動きもできる

目的、背景、全体状況、見通し情報で

今やっている仕事の「」ができる



理解欲求の充足 + 判断基準の獲得



自発的な気の利いた行動ができる

● 企業と個人の価値を高めるために

みなさんが、明日からできることは 何ですか？

あなたなら、何ができますか？（何をやめますか？）

<ul style="list-style-type: none">•••

ありがとうございました。

真・報連相の行動10箇条

- 1 挨拶は報連相のウォーミングアップ
- 2 何事も確認が大切
- 3 相手に応じてやり方を考えよう
- 4 目的思考を習慣にしよう
- 5 自分を含めた全体状況を見よう
- 6 意味を伝えよう。思いを共にしよう
- 7 対面して、話そう、傾聴しよう
- 8 質問で情報の共有化を深めよう
- 9 勇気をもって、正直に伝えよう
- 10 座右の銘を持とう

テキスト制作発行

大阪・御堂筋本町・人と組織・変革支援

有限会社NSRビジネス / 御堂筋労務事務所

日本報連相センター 関西支部 NHC113

〒541-0046 大阪市中央区平野町3丁目4-9 旭洋ビル7階

電話 06 (4963) 2892 FAX 06 (4963) 2893

メール: info@nsr-business.com

ホームページ: <http://www.nsr-business.com>

本講演のテキスト教材の著作権は全て日本報連相センターに帰属します。本テキストの全体または部分の別なく、発行者の許可無しに複写・複製・転載・実演を行うことを禁じます。掲載、利用の際は、必ず発行者宛にご連絡下さい。